

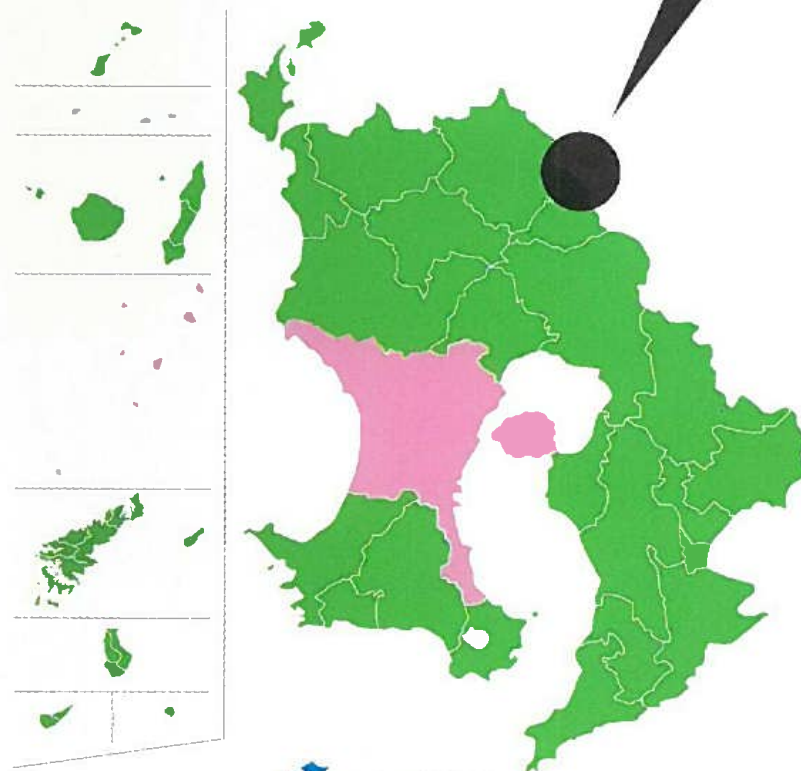
とんとん
鹿児島

探訪 | 文化財 | かがしま

KAGOSHIMA
CULTURAL PROPERTY
EXPLORATION

鹿児島地区

KAGOSHIMA
再発見



鹿児島県

はじめに

鹿児島県教育委員会では、本県に所在する文化財の価値を広く国内外に発信し、本県の魅力を伝えるため、文化財をテーマとした観光モデルコースを設定し、歴史ガイドブック「かごしま文化財探訪」やPR動画を制作しました。

本書は、今年度対象地区とした鹿児島地区におけるテーマごとの観光モデルコースや、その文化財を掲載したものです。来年度以降、他の地区についても作成することとしています。

本県は、九州最南端に位置し、その範囲は奄美群島まで南北約600kmにもわたり、各地で様々な文化が生まれ、現在も数多くの文化財が残されています。本書では、県内の一部の文化財を紹介しておりますが、これを糸口として、県内外の多くの方々が本県の文化財に興味を持ち、探訪していただければ幸いです。

令和2年3月
鹿児島県教育委員会

本ガイドブックで紹介させていただいた一部の文化財については、動画もご覧いただけます。



<https://www.kagoshima-kankou.com/s/movie/53307/>



探訪 | 文化財 | かごしま

KAGOSHIMA
CULTURAL PROPERTY
EXPLORATION

鹿児島地区

日本の南端に位置する鹿児島県は、
特徴的な地理環境を背景に多様な歴史や文化が育まれてきました。
全国的には、西郷隆盛や大久保利通らを輩出した
幕末・明治維新时期の歴史に注目されますが、
それ以前やそれ以後の時代の文化財も
鹿児島らしい物語を湛える価値に溢れています。
それらの魅力ある文化財を探訪することは、
新たな鹿児島との出会いにつながるかもしれません。

探訪 | 文化財 | かごしま

戦国島津をめぐるコース

- 鹿児島城跡(鶴丸城跡) 09
- 福昌寺跡 10
- 美山薩摩焼窯 11
- 天昌寺跡 12
- 南郷城跡 13
- 梅天寺跡 14
- 亀丸城跡(伊作城跡) 15
- 海蔵院跡・南方神社 16



探訪 | 文化財 | かごしま

廃仏毀釈をめぐるコース

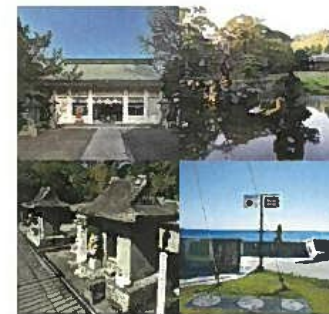
- 町田家の墓(永福寺跡) 19
- 徳重神社 20
- 妙園寺 21
- 島津立久公墓地跡(龍雲寺跡) 22
- 来迎寺跡墓塔群 23
- 冠嶽史跡 24
- 花尾神社の石塔群 25
- 川田氏累代墓石塔群 26



探訪 | 文化財 | かごしま

幕末・明治維新を感じるコース

- 南洲神社・南洲墓地 29
- 旧島津氏玉里邸庭園 30
- 本田兄弟の墓碑 31
- 有馬新七先生墓碑 32
- 桂山寺跡 33
- 園林寺跡(小松帯刀の墓) 34
- 串木野麓・長谷場純孝生誕の地 35
- 留学生渡欧の地 36
- 大久保利通先祖の墓 37



探訪 | 文化財 | かごしま

- その他の文化財 38
- まめ知識・コラム 48



薩摩川内高江
 くまのじょう
 薩摩川内都
いちき串木野市
 ● 留学生渡欧の地
 串木野麓・長谷場純孝生誕の地
 串木野
 南九州四輪峠
 くしきの
 かみむらがくえんまえ
 東シナ海
 いちき
 来迎寺跡墓塔群
 市来
 ひがしいちき
美山薩摩焼窯
 美山
 妙圓寺
 徳重神社
 いじゅういん
 伊集院
本田兄弟の墓碑
有馬新七先生墓碑
 園林寺跡(小松帯刀の墓)
 南郷城跡
 天昌寺跡
 梅天寺跡
 270
 亀丸城跡(伊作城跡)
 海蔵院跡・南方神社

鹿兒島市
 鹿兒島北
 鹿兒島西
 鹿兒島本線
 山田
 中山
 谷山
 指宿スカイライン
 錫山
 225
 226
 224
 錦江湾
 桜島
 始良
 ちょうさ
 あいら
 しげとみ
 薩摩吉田
 福昌寺跡
鹿兒島城跡(鶴丸城跡)
 南洲神社・南洲墓地
 町田家の墓(永福寺跡)
 旧島津氏玉里邸庭園
 川田氏累代墓石塔群
 花尾神社の石塔群
 冠嶽史跡
 大久保利通先祖の墓
 島津立久公墓地跡(龍雲寺跡)
 ゆのもと
 鹿兒島

戦国島津をめぐるコース

鹿児島地区

KAGOSHIMA
再発見

南北朝期になって、島津氏が拠点を置いた現在の鹿児島地区。戦国期には、この地を制するための戦いが繰り広げられます。最終的には、亀丸城に生まれた武将らが鹿児島のみならず、南九州の地の覇者となります。その攻防のルーツや戦国島津を語る上で重要な役割を担った人物らの源流に触れることができるコースです。

JR鹿児島中央駅 発

🚗 約15分

1 鹿児島城跡(鶴丸城跡)

🚗 約10分

2 福昌寺跡

🚗 約35分

3 美山薩摩焼窯

🚗 約20分

4 天昌寺跡

🚗 約3分

5 南郷城跡

🚗 約3分

6 梅天寺跡

🚗 約15分

7 亀丸城跡(伊作城跡)

🚗 約5分

8 海蔵院跡・南方神社

🚗 約50分

JR鹿児島中央駅 着

鹿児島城跡(鶴丸城跡)

かごしまじょうあと(つるまるじょうあと)

国指定史跡・天然記念物／県指定史跡／日本遺産



「人をもって城と成す」といわれた島津氏ならではの居城。

鹿児島城は、慶長6(1601)年頃に島津家第18代当主家久によって築城されました。山城部分を鶴丸山と呼んだことから、鹿児島城は“鶴丸城”の呼名で多くの人々に親しまれています。天守閣を持たない屋形造りの城で、これは幕府に配慮し、恭順の意を示す為だったとも言われています。「外城制度」を作り上げ、「人をもって城と成す」といわれた島津ならではの城です。集成館事業においては、城内製錬所(後の開物館)に反射炉のひな型が造られるなど、様々な実験・研究が行われました。廃藩置県後、一時熊本鎮台の第2分営となっていたのですが、明治6(1873)年、本丸を焼失しました。明治10(1877)年、西南戦争の際二の丸の殿舎も焼失しました。

●鹿児島早歴史・美術センター黎明館(9:00~18:00, 月曜日休館日)



■周辺環境



■お問合せ先
鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

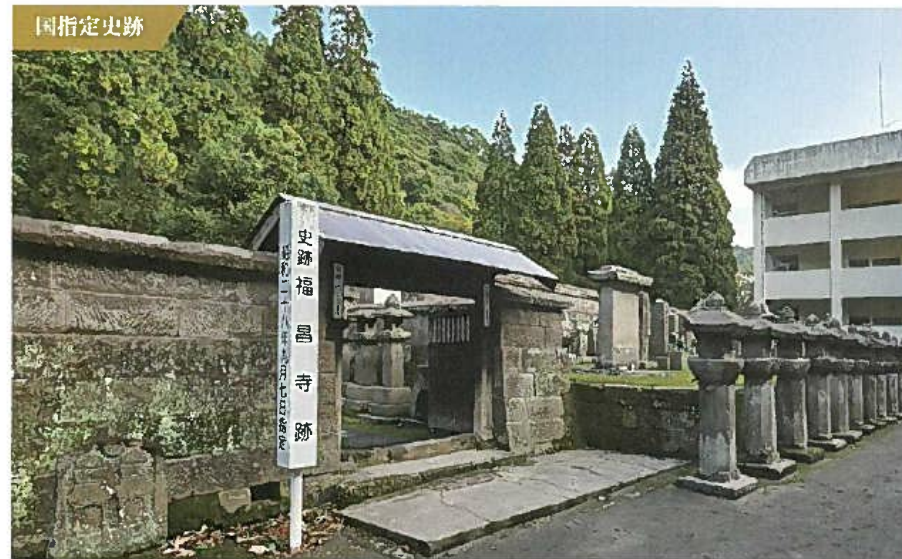
■所在地
鹿児島市城山町7-2



福昌寺跡

ふくしょうじあと

国指定史跡



最盛期には、1,500人の僧侶がいた南九州最大級の寺。

福昌寺は、応永元(1394)年に島津家第7代当主元久が、石屋真梁禅師を開山として、創建したとされる島津家代々の菩提寺です。現在本堂はありませんが、第6代当主の師久(薩摩)、氏久(大隅)から、第28代当主斉彬までの歴代島津家当主の墓があります。この寺の15世忍室文勝和尚とザビエルは深く親交を結び、宗教について大いに語り合ったと言われています。明治2(1869)年の廃仏毀釈により廃寺となり、島津家歴代の墓地だけが残っています。墓地の後背地にはキリシタン墓地もあります。跡地には鹿児島玉龍高等学校が移転されました。



■周辺環境

■お問合せ先
鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地
鹿児島市池之上町48



美山薩摩焼窯

みやまごつまやきがま

県指定史跡



約120年間使われた、藩の御用窯。

美山薩摩焼窯は、2つの窯が並列し、その間には器物の破片がたくさん積み重なっています。寛延年間（1748～1751）に藩の御用窯として築かれ、藩主も度々訪問しています。苗代川陶業の中心として、明治前期頃に廃窯となるまで多くの作品を生み出しました。製品は、黒物では、茶碗・平鉢・土瓶・皿・花瓶、白物では、平鉢・土びん、染付白磁では、花瓶・酒器・茶碗・皿などが焼かれて豪華な作品を海外にも輸出して注目を浴びました。



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市東市来町美山
973・974



天昌寺跡

てんしょうじあと

日置市指定史跡



薩摩藩家老を輩出した、永吉島津家。

天昌寺は、元中2（1385）年に石屋真梁禅師が創建したとされる曹洞宗寺院です。始めは妙通寺と称しましたが、永吉島津家の菩提寺となり、2代豊久の法名「天岑昌運大居士」から天昌寺と改名しました。永吉島津家初代家久は、本家第15代当主貴久の四男として誕生しました。佐土原（宮崎市）を本拠地として九州統一に向けた戦いで活躍しましたが、豊臣政権に降伏後、急死しました。家久の子・豊久も本家を支えましたが、関ヶ原の戦いの時に戦死しました。豊久の死後、彼の姪を妻として迎えた喜入忠栄が継承するも、後継ぎを残さず亡くなり、本家第18代当主家久の9男・久雄が4代となりました。これ以降、永吉を領することになりました。



■周辺環境



※駐車スペース有

■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市吹上町永吉
14884-6



南郷城跡

なんこうじょうあと

日置市指定史跡



南北最大幅500m, 東西最大幅550mの雄大堅固な城。

南郷城は、南北最大幅500m, 東西最大幅550mの雄大堅固な城で、鎌倉時代の日置南郷を領した郡司桑波田一族の居城でした。天文2(1533)年に島津忠良らとの間で争い、島津家が勝利して以来、この城は島津家の所領となりました。南郷城は山城であり、戦のときのみ使用されましたが、永吉地区を象徴する城となりました。

MAP C-4



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市吹上町永吉
城内宇都・本丸



梅天寺跡

ばいてんじあと

日置市指定史跡



戦国島津四兄弟の末弟, 島津家久の墓所。

梅天寺は、元中2(1385)年に石屋真梁禅師が創建したとされる曹洞宗寺院です。始めは妙法寺と称しましたが、永吉島津家初代家久(法名梅天長策大禪伯)の位牌が納められたことから、梅天寺と改名しました。家久は、本家第15代当主貴久の4男として伊作城で誕生したとされます。島津氏が日向国を支配すると、佐土原(宮崎市)を本拠として日向国の武将たちを統率しました。以後、豊後国の大友氏や肥前国の龍造寺氏、豊臣政権との戦いで功績を挙げました。しかし、九州平定で、豊臣政権に降伏後、急死しました。

MAP C-4



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

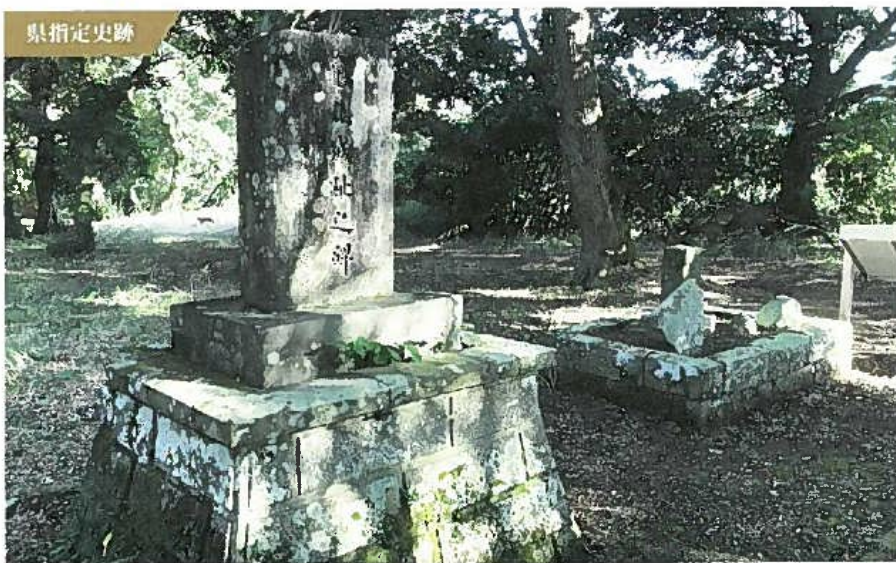
日置市吹上町永吉
5761-2



亀丸城跡(伊作城跡)

かめまるじょうあと(いざくじょうあと)

県指定史跡



薩摩藩の基礎を築いた、戦国島津の居城。

亀丸城(伊作城)は、日置市吹上町中原の一帯に広がる山城です。標高約73mの台地に築かれたこの城は、周囲を急斜面に囲まれ、伊作川や谷など自然の地形を活かしつつ、巨大な空堀も用いた険峻な要害でした。南北朝時代に、島津本家第4代当主忠宗の弟久長が伊作荘地頭職を得て、伊作島津家の始祖となって以降、同家がこの城を支配しました。戦国時代、島津忠良(日新公)や戦国島津四兄弟(義久・義弘・歳久・家久)といった薩摩藩の隆盛の原点を築いた人々がこの城で誕生したとされることから、江戸時代には聖地として扱われました。本丸・亀丸城には、忠良や四兄弟たちの誕生を記念する石が置かれています。



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市吹上町中原
3427-1



海蔵院跡・南方神社

かいぞういんあと・みなんかたじんじや

日置市指定史跡(海蔵院跡)



島津忠良(日新公) 修行の地と、戦いの神様と信仰された神社。

海蔵院は、真言宗の寺院で、応永5(1398)年に創建された伊作郷最大の寺院でありました。島津忠良(日新公)は、7歳から15歳まで当院8代住職の教育を受けました。五輪塔・月輪塔などの様々な石塔が残っています。

南方神社は、諏訪神社とも言い、閑静な森の中にあります。この神社には、8月28日の大祭の日、伊作太鼓踊りが奉納されています。この踊りは、伊作島津家4代久義が、田布施郷の二階堂行貞を降した戦略をもとに考案されたとされ、同家10代忠良が加世田別府城を攻略したときから当社に奉納するようになったとされています。



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市吹上町湯之浦
2147・2170外



廃仏毀釈をめぐるコース

鹿児島地区

再発見

他藩の対応と異なり、鹿児島藩の廃仏毀釈は、徹底したものでした。それだけに島津家ゆかりの寺院も例外なく廃寺となり、南九州において名刹・古刹の足跡を辿るのは、残された墓石などが中心となります。それでも神社として創建されたり、伝統行事は受け継がれたりと様々なかたちで触れることができるコースです。

JR鹿児島中央駅 発

🚗 約20分

1 町田家の墓(永福寺跡)

🚗 約15分

2 徳重神社

🚗 約5分

3 妙圓寺

🚗 約15分

4 島津立久公墓地跡(龍雲寺跡)

🚗 約12分

5 来迎寺跡墓塔群

🚗 約20分

6 冠嶽史跡

🚗 約40分

7 花尾神社の石塔群

🚗 約12分

8 川田氏累代墓石塔群

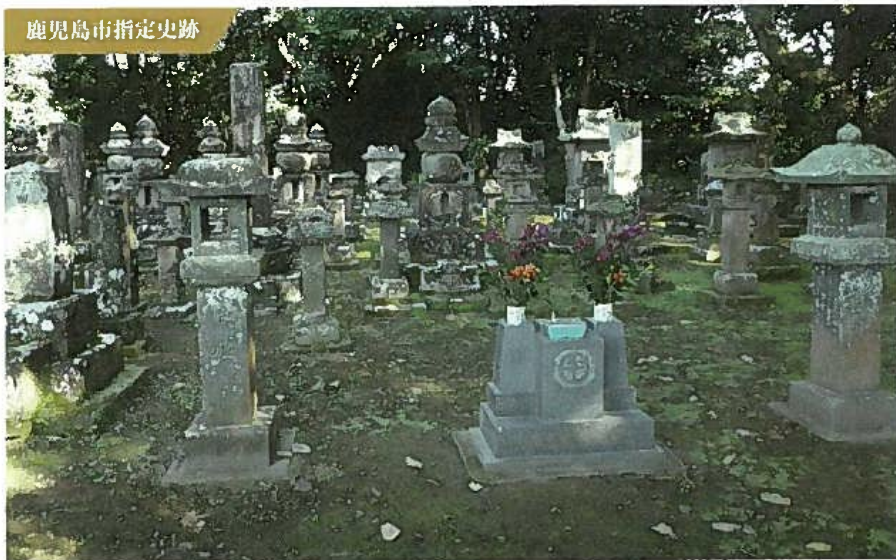
🚗 約30分

JR鹿児島中央駅 着

町田家の墓(永福寺跡)

まちだけのはか(えいふくじあと)

鹿児島市指定史跡



島津三大権門の一つである町田家の歴史がしのばれる墓所。

町田家の墓は、町田家22代久東から28代久長(薩摩藩英国留学生を率いて渡英した久成の父)が主体で、ほかに石谷城の合戦で戦死した15代梅久の墓、17代久徳の墓、26代久視による改葬碑、菩提寺である永福寺の僧侶墓などがあります。墓標は仏式の五輪塔を中心に石祠型であります。明治2(1869)年に死去した久長は神式による墓標です。また久成の母の国子は吉利(現日置市日吉町)の小松家の娘で、妹のお近の夫が小松帯刀という縁で、国子の灯籠には、久長、久成などとともに清廉(帯刀)及び帯刀の妻の名も並び刻銘されています。なお町田氏は、島津家第2代当主忠時の7男常陸介忠経を始まりとし、地頭や家老を輩出する名門支族で、家格は御一門につく領地を持つ一所持、石高は1700余石でした。

MAP D-3



■周辺環境



■お問合せ先

鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地

鹿児島市石谷町
3759



徳重神社

とくしげじんじや



西郷と大久保も参加した「妙円寺詣り」の目的地。

徳重神社は、島津家第17代当主義弘の菩提寺であった妙圓寺が明治2(1869)年の廃仏毀釈で廃寺になって、義弘を祭神とする神社となりました。ここは、現在も続く鹿児島の代表的な伝統行事「妙円寺詣り」の舞台となっています。関ヶ原の戦いに出陣した義弘が西軍の敗北によって、徳川本陣の真只中を敵中突破し、すさまじい退却戦を展開しました。毎年10月の第4土・日曜日に催される妙円寺詣りは、この時の苦闘を偲ぶ行事であり、若者たちが鎧兜に身を包み、神社に向かって練り歩く行列を見ることができます。

MAP C-3



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市伊集院町徳重
1787(社殿)



妙圓寺

みょうえんじ



戦国武将として勇名を馳せた、島津義弘公の菩提寺。

妙圓寺は、曹洞宗の寺院です。今から630年程前(室町時代)、石屋真梁禅師により、長門国(山口県)の守護大名大内義弘の息女を供養するため、現在の徳重神社がある場所に建立されました。後に、島津家17代当主義弘が石屋禅師の教えに感銘して、妙圓寺を自らの菩提寺と定めたことで栄え、最盛期には寺領500石を誇りました。しかし、明治2(1869)年の廃仏毀釈により廃寺となりました。その後、現在の地に復興しました。毎年行われている妙円寺詣りは、この妙圓寺が発祥の寺で、徳重神社とともに参詣地となっています。

MAP C-3



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

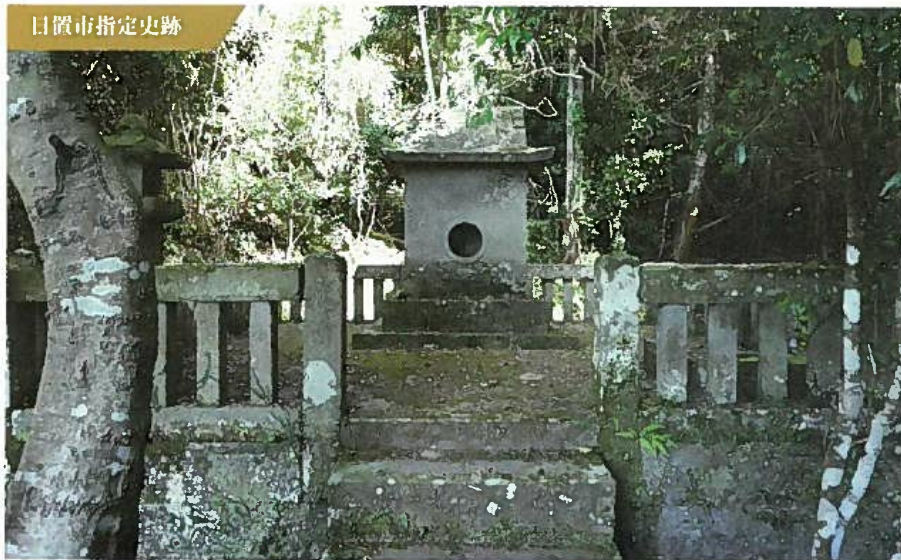
日置市伊集院町徳重
521



島津立久公墓地跡(龍雲寺跡)

しまづたつひさこうばちあと(りょううんじあと)

日置市指定史跡



遺言により龍雲寺に埋葬された、島津家第10代当主立久。

龍雲寺は、寛正3(1462)年に島津家第10代当主立久が、市来氏を攻めて勝利し、建立したもので、開山は心厳良信和尚です。この龍雲寺、田布施の常珠寺、吉田の津友寺を薩摩曹洞宗の三ヶ寺といい、由緒ある格式の高い寺でした。文明10(1478)年に龍雲寺の玉洞和尚は、中国に7年間留学し学徳の優れた桂庵玄樹が肥後に居ることを知り、第11代当主忠昌に相談し、薩摩に招くことになりました。この寺は、明治2(1869)年の廃仏毀釈により廃寺となりました。跡地には、立久や歴代僧侶の墓が10数基建ち並んでいます。

MAP C-3



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市東市来町長里
3281



来迎寺跡墓塔群

らいこうじあとぼとうぐん



鎌倉・室町時代の墓塔形式を知る上で重要なもの。

来迎寺跡墓塔群には、市来を古くから統治していた市来氏歴代の墓が建てられています。市来氏は惟宗姓を持ち、後に地頭として赴任してきた同じ姓を持つ島津氏と張り合うものの、時代によっては敵にも味方にもなりながら市来を統治し続けました。寛正3(1462)年に市来久家・忠家親子の時、島津氏により滅ぼされました。また、墓塔群敷地内には、島津忠久の母丹後局の墓との伝承のある、文永12(1275)年刻銘の石塔婆があります。



■周辺環境



■お問合せ先

いちき串木野市教育委員会
社会教育課 ☎0996-21-5128

■所在地

いちき串木野市大里



冠嶽史跡

かんむりだけしせき



薩摩の山岳信仰の聖地。

冠嶽は、金峰山(南さつま市)と共に薩州二大霊山といわれ、古くから薩摩の山岳信仰の中心でした。東嶽、中嶽、西嶽は冠嶽三山と呼ばれ、山麓一帯に、冠嶽神社をはじめとする多くの寺社仏閣がありました。頂峯院は、島津家歴代藩主の信仰も厚く、17の末寺を抱えて南九州における重要な学問の中心地の一つとなりました。朱子学の薩南学派の祖である桂庵玄樹もこの地を訪れています。



■周辺環境



■お問合せ先

いちき串木野市教育委員会
社会教育課 ☎0996-21-5128

■所在地

いちき串木野市冠嶽
13511



花尾神社の石塔群

はなおんじんのせきとうぐん

鹿児島市指定史跡



島津家初代当主忠久の母と隨身が眠る墓所。

花尾神社の石塔群は、島津家初代当主忠久の母丹後局の石塔や僧永金の大五輪塔を始め、鎌倉末期元徳元（1329）年に建てられた僧快善の逆修塔である月輪塔や室町初期永徳4（1384）年に建てられた大禪師影相の逆修塔の宝篋印塔を中心に、丹後局の隨身たちと言われる人々の供養塔が多数建てられています。丹後局の石塔の横には、安産・子授けの御利益があるとされているお苔石があります。

MAP D-2



■周辺環境



■お問合せ先

鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地

鹿児島市花尾町4043



川田氏累代墓石塔群

かわたしるいだいぼせきとうぐん

鹿児島市指定史跡



川田氏11代義秀から26代佐徳夫妻までと代々の住職が眠る。

川田氏累代墓石群は、12代川田駿河守義朗の墓を始め、11代義秀以降26代川田佐徳夫妻までの累代及び大川寺代々の住職の墓石塔11基などがあります。宝篋印塔・五輪塔・無縫塔・角石塔婆などが数多くあります。また、地藏墓や合掌地藏立像、万治2（1659）年時の大川寺住職天安禅師の寄進による石燈籠もあります。川田氏は源姓で、比志島氏の庶家で満家院（郡山町）の川田名主でした。近くの川田川の対岸には、川田氏の居城であった川田城跡があります。

MAP D-3



■周辺環境



■お問合せ先

鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地

鹿児島市川田町1865



幕末・明治維新を感じるコース

鹿児島地区

再発見

維新の三傑と称される西郷隆盛と大久保利通、彼らの意外な物語や重要な関係人物ゆかりの文化財が点在するのが鹿児島地区です。さらに、大久保家のルーツや英国留学生、寺田屋事件と幕末期の重要な出来事に関わる文化財もあり、幕末・明治維新を感じ、学び、楽しむことができるコースです。

JR鹿児島中央駅 発

🚗 約15分

1

南洲神社・南洲墓地

🚗 約10分

2

旧島津氏玉里邸庭園

🚗 約40分

3

本田兄弟の墓碑

🚗 約5分

4

有馬新七先生墓碑

🚗 約15分

5

桂山寺跡

🚗 約5分

6

園林寺跡(小松帯刀の墓)

🚗 約20分

7

串木野麓・長谷場純孝生誕の地

🚗 約20分

8

留学生渡欧の地

🚗 約20分

9

大久保利通先祖の墓

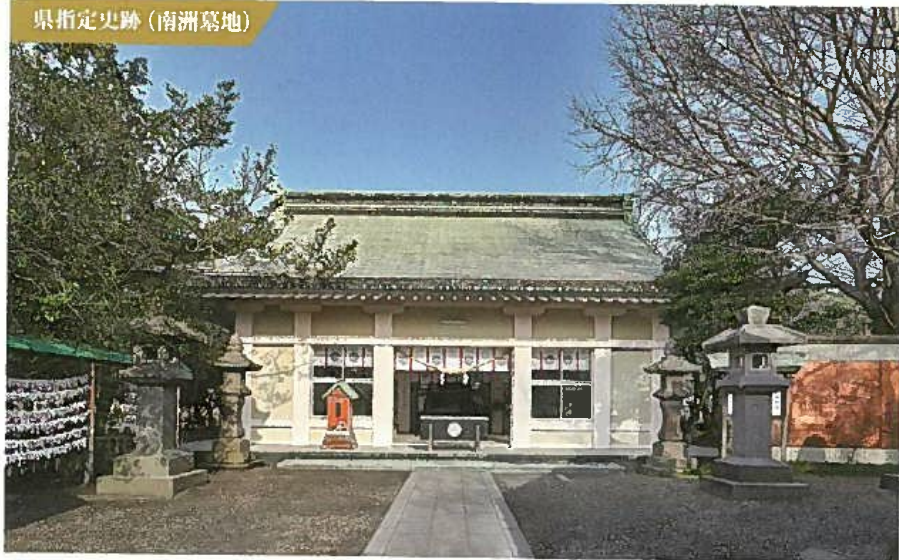
🚗 約40分

JR鹿児島中央駅 着

南洲神社・南洲墓地

なんしゅうじんじや・なんしゅうぼち

県指定史跡(南洲墓地)



西郷隆盛が祀られている神社。

南洲神社は、鹿児島市上竜尾町に鎮座する神社です。隣接して西南戦争での西郷軍方の戦死者が埋葬される南洲墓地があります。西郷隆盛の遺徳を敬崇し、参拝者が増加したことから、明治13(1880)年、南洲墓地の隣に参拝所が設けられ、大正11(1922)年6月28日、「南洲神社」として無格社に認定されました。しかし、昭和20(1945)年の戦災で焼失し、昭和32(1957)年に新たに社殿が造営されました。南洲翁こと西郷隆盛及び西南戦争における戦没者(桐野利秋・篠原国幹・村田新八・永山盛弘・辺見十郎太・池上貞固・別府晋介・大山綱良・島津啓次郎・中津隊など)を祀っています。

●西郷南洲顕彰館(9:00~17:00,月曜日休館日)



■周辺環境



■お問合せ先

鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地

鹿児島市上竜尾町2-1



旧島津氏玉里邸庭園

きゅうしまつしたまざとていえん

国指定名勝



薩摩藩主島津氏の別邸に造られた池泉回遊式庭園。

旧島津氏玉里邸庭園は、島津家第27代当主斉興によって、天保6(1835)年に築庭された大名庭園です。斉興の別称が「玉印」であったことから、玉里邸と命名し、後にこれが地名となったと言われています。旧邸宅書院からの観賞を意図して造られた「上御庭」と池周辺を歩きながら庭園全体を観賞できる回遊式の「下御庭」という二つの庭園からなり、江戸時代末期の庭園の様子がうかがえます。また、庭園内の随所に、南九州独特の趣向を凝らしたり、材料を用いたりするなどの風土的特色が見られます。



■周辺環境



■お問合せ先

鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地

鹿児島市玉里町27-20



本田兄弟の墓碑

ほんだきょうだいのぼひ

日置市指定史跡



西郷隆盛の直筆の追悼文が刻まれている墓碑。

本田兄弟とは、兄本田吉左衛門親正と、弟本田太郎作親直のことです。兄弟は、伊集院犬之馬場の名家本田家で生まれました。父の本田元右衛門親至は、西郷隆盛とかねてから親交がありました。慶応3（1867）年の大政奉還後に、薩摩藩主島津忠義が兵を率いて上京するとき、本田兄弟もこれに従軍しました。明治元（1868）年、薩摩藩は新政府軍として参戦し、鳥羽・伏見の戦いで兄弟も奮戦し、越後長岡に転戦しました。長岡の戦いは、多くの犠牲者が出た激戦で、まだ若かった本田兄弟はともに戦死しています。明治2（1869）年、兄弟をかわいがっていた西郷は、その死を悼んで自ら筆を執り、二人の墓石に直接碑文を書き、それを石工に彫らせたと言われています。

MAP C-3



■周辺環境



伊集院護国神社内

■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市伊集院町大田
780



有馬新七先生墓碑

ありましんしちせんせいぼひ

日置市指定史跡



吉田松陰などと並ぶ明治維新原動力の志士。

有馬新七（正義・武暦）は、文政8（1825）年に伊集院郷士坂木家に生まれた幕末の志士です。新七が幼いとき、父四郎兵衛貞常が鹿児島城下士有馬家に養子入りし、有馬姓となりました。新七は、幼い頃から漢学や国学、剣術などに励み、天保14（1843）年には、薩摩藩の留学生に選ばれて、江戸に派遣されました。江戸でも高い評価を受け、江戸藩邸で講義を行っています。嘉永6（1853）年のペリー来航後、国内では尊皇攘夷運動が盛んになり、新七も薩摩藩における尊皇攘夷運動の中心となりました。新七と尊皇攘夷派の仲間たちは、文久2（1862）年、京都の寺田屋で同じ薩摩藩士と斬り合いの末、壮絶な死を遂げました。墓は南林寺の墓地撤去に伴い、現在地に移され、昭和47（1972）年に改修されました。

MAP C-3



■周辺環境



伊集院護国神社内

■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市伊集院町下谷口
1493



桂山寺跡

けいざんじあと

日置市指定史跡



日置3代領主島津常久の父忠隣の菩提寺。

桂山寺は、曹洞宗龍雲寺(日置市東市来町長里)の末寺です。元は、霊徳寺という寺でしたが、文禄4(1595)年に、日置島津家3代常久が日置を治めたとき、これを桂山寺と改めて、父忠隣の菩提寺としました。忠隣は、天正15(1587)年に豊臣軍と戦い、戦死しています。桂山寺は、明治2(1869)年の廃仏毀釈により廃寺となりましたが、忠隣の墓は、正面の小高い所に残っています。また、ここから西側に約100m離れた所には、日置島津家などの墓地があり、そこには西郷隆盛に影響を与えた赤山靱負の墓もあります。

MAP C-4



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市日吉町日置
3253



園林寺跡(小松帯刀の墓)

おんりんじあと(こまつたてわきのほか)

日置市指定史跡



明治維新に尽力した、小松家29代小松帯刀が眠る場所。

小松家(旧禰寝家)は、元々大隅半島の根占地方を治めていましたが、17代禰寝重張のときに吉利に移されて以来、明治に至るまで領民に親しまれてきたといわれています。園林寺は、その領地替えの際に移された同家の菩提寺で、明治2(1869)年の廃仏毀釈により廃寺となりました。なお、小松姓は、24代清香のときに禰寝姓から改姓しました(祖先の平重盛が小松内大臣と呼ばれていたためと言われています)。小松帯刀の墓は、妻お近と並んで吉利集落を見下ろす位置にあります。また、その横には昭和天皇より賜った石灯籠や、幕末の横綱であった陣幕が奉納した石灯籠、小松が京都で愛したお琴の墓などもあります。

MAP C-4



■周辺環境



■お問合せ先

日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地

日置市日吉町吉利
5004-3



串木野麓・長谷場純孝生誕の地

くしぎのふもと・はせばすみたかせいたんのち

日本遺産



日本遺産に認定された「串木野麓」出身の衆議院議長。

串木野麓は、中世の串木野城を中心に広がっていた麓です。串木野城周辺には、曲輪を利用した神社や武家住宅など、江戸の景観が凝縮されています。令和元年5月に日本遺産に認定された「薩摩の武士が生きた町」の主な麓の一つです。

長谷場純孝は、安政元（1854）年に串木野麓で生まれました。18歳の時上京し警視庁の羅卒（巡査）となりましたが、西郷隆盛を慕って故郷へ戻り、明治10（1877）年の西南の役で西郷軍に加わり捕虜となりました。明治13（1880）年に出獄すると国会開設運動に参加し、明治23（1890）年の第1回衆議院議員総選挙で当選し、明治41（1908）年に衆議院議長、明治44（1911）年には第2次西園寺内閣の文部大臣を務めました。



■周辺環境



■お問合せ先

いちき串木野市総合観光案内所
☎0996-32-5256

■所在地

いちき串木野市上名
2744



留学生渡欧の地

りょうがくせいとおうのち

いちき串木野市指定史跡



薩摩藩英国留学生が出航した羽島の港。

留学生たちは、羽島の地で甌島出張に見せかけて密かに渡欧する条件を備え、羽島の藤崎家、川口家に約2ヶ月間滞在しながらイギリス行きの船を待ちました。慶応元（1865）年4月（旧暦3月）、トーマス・グラバーが手配した蒸気船「オースタライエン号」が羽島沖に到着し、翌日、留学生を乗せてイギリスへと出港しました。約2ヶ月後にロンドンに到着した留学生たちは、勉学に励み、帰国後は、それぞれ日本の近代化に大きな功績をあげました。港は享保年間（1716～1735）に薩摩藩が整備し、弘化5（1848）年に西郷隆盛らが治水工事に関わったと言われています。現地には、「西郷さんの玉石垣」と呼ばれる堤防や、「薩摩藩英国留学生記念館」があります。

●薩摩藩英国留学生記念館（10:00～17:00、火曜日休館日）



■周辺環境



■お問合せ先

いちき串木野市教育委員会
社会教育課 ☎0996-21-5128

■所在地

いちき串木野市羽島
4930



大久保利通先祖の墓

おおくぼとしみちせんぞのはか



維新三傑と呼ばれた、大久保利通の先祖の墓地。

大久保利通先祖の墓は、長田神社横と小淵脇にありましたが、小淵脇にまとめられました。藩政時代、中宿という制度(藩の許可を受け地方に移住して、生活を建て直し、再び鹿児島へ帰任する)がありました。大久保利通の先祖も中宿願を出しおよそ貞享年間(1680年代)から宝暦年間(1750年代)まで川上に居住し、その後、鹿児島に帰任しました。

MAP B-2 1 至串木野



■周辺環境



■お問合せ先

いちき串木野市教育委員会
社会教育課 ☎0996-21-5128

■所在地

いちき串木野市川上
1141-1



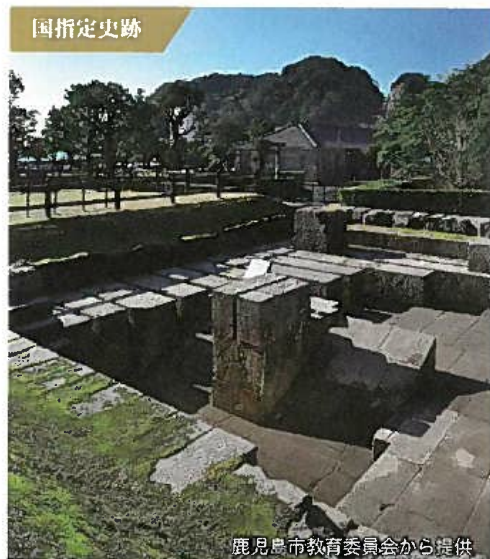
その他の文化財

鹿児島地区

鹿児島地区の文化財は、世界文化遺産に登録された旧集成館関連から「薩摩の武士が生きた町・麓を歩く」として日本遺産に認定された武家屋敷群まで、日本を代表するような価値を有するものばかりです。それぞれの興味に沿ってコースを設定しながら廻ってみてはいかがでしょうか。

旧集成館 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産。

ぎゅうしゅうせいかん



反射炉は、集成館事業の中核となった鹿児島市磯に築かれた日本初の工場群「集成館」に建設されました。ここでは、大砲鑄造、洋式艦船の建造、製鉄や紡績、ガラス製造、活版印刷などが行われました。大砲の大型化・鉄製化を図るため、オランダの技術書の翻訳書を参考に西欧の鑄造技術を導入し、鉄を溶かして大砲が作られました。

●尚古集成館 有 (8:00~17:30)

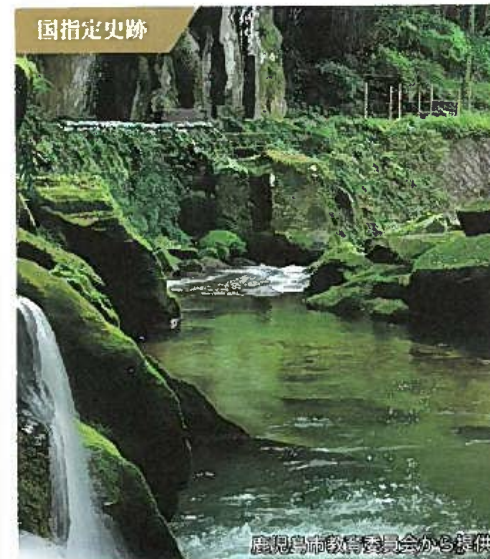
■お問合せ先
鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地
鹿児島市吉野町9698-1



関吉の疎水溝 集成館事業の動力源として利用された水路。

せきよしのそすいこう



関吉の疎水溝の水は、集成館事業の高炉や砲身に穴を開ける装置（鑽開台）の水車を回す動力源として用いられました。元々島津家別邸の生活用水として、稲荷川の水を引いていましたが、島津齊彬は関吉の疎水溝の改修や整備を実施し、新たに集成館側に水路を築き、集成館の水車に水を供給しました。

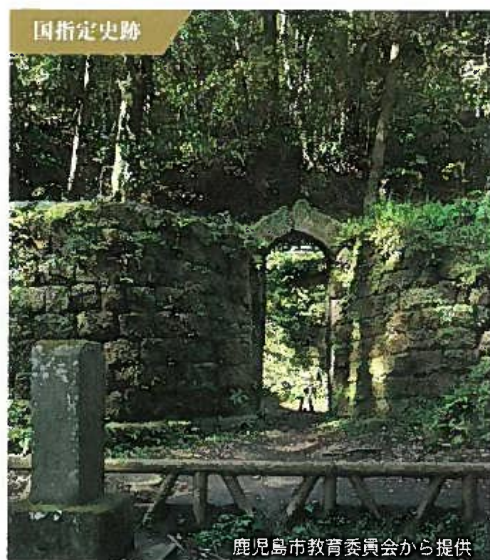
■お問合せ先
鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地
鹿児島市下田町1263の先



寺山炭窯跡 集成館事業の燃料源として、白炭をつくった炭窯。

てらやますみがまあと



寺山炭窯は、集成館事業の反射炉・高炉に大量の木炭が必要となったため築かれました。良質な石炭が産出されない薩摩では、堅木を焼成して木炭を作りました。寺山に3基炭窯が築かれ、そのうちの1基が今も残っています。ここで焼かれた炭は白炭と呼ばれ、火持ちが良く、高温を発生し、重宝されたと言われています。

※ 令和元年7月の土砂崩れに伴う復旧工事のため、当面見る事ができません。

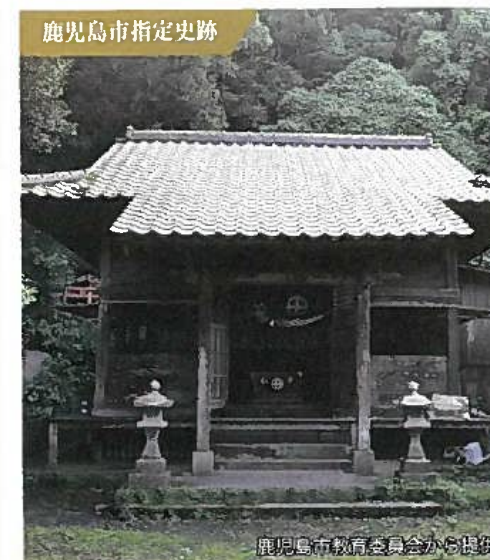
■お問合せ先
鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地
鹿児島市吉野町10710-68



心岳寺跡 島津歳久の菩提を弔うために建立した寺院。

しんがくじあと



心岳寺は、自刃して果てた島津歳久の菩提寺です。明治2（1869）年の廃仏毀釈により廃寺となり、新たに平松神社が建立されました。歳久は豊臣秀吉の九州平定に際し、最後まで抵抗したため、秀吉の恨みを買って、自刃させられた悲劇の武将です。秀吉の死後、島津家第16代当主義久は歳久の霊を祀るために、慶長4（1599）年に心岳寺を建立しました。

■お問合せ先
鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地
鹿児島市吉野町10691



噴火により埋没した鳥居 後世に残す噴火の猛威。

ふんかによりまいぼつしたとりい



大正3(1914)年1月の桜島火山大噴火で、桜島の東側にあたる黒神町には、火山灰などが厚さ約2mも降り積もりました。その後、降り積もった火山灰の上に新たに集落を建設しましたが、埋没した腹五社神社の鳥居と永野氏宅の門柱だけは、大正大噴火の猛威を如実に物語る記念物として後世に残されました。

■お問合せ先
鹿児島市教育委員会文化財課
☎099-227-1962

■所在地
鹿児島市黒神町(黒神中学校様)



市来鶴丸城跡 城の周囲は絶壁で、攻め難い堅固な城。

いちざつるまるじょうあと



市来鶴丸城は、市来院を領有していた市来氏が築いた、標高約100m、周囲約3Kmの山城です。南北朝時代から戦国時代にかけて、度々戦いが行われました。天文19(1550)年に、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルがこの城を訪れ、キリスト教を布教し、記録によると、県内で宿泊滞在したことの確実な城と言われています。

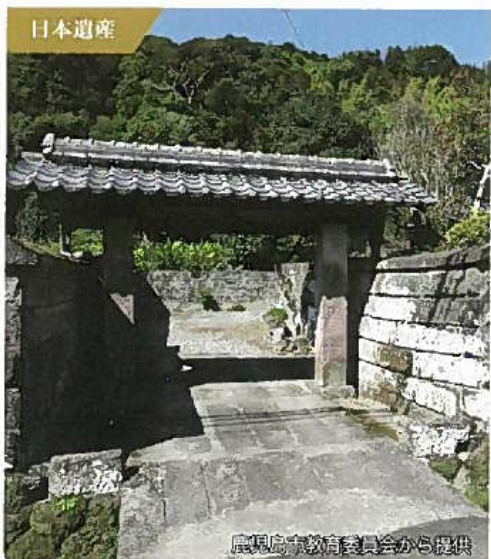
■お問合せ先
日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地
日置市市来町長里361-1



喜入旧麓の武家屋敷群 日本遺産、麓の原風景を巡る。

さいれもとふもとのぶけやしきぐん



喜入旧麓は、文禄4(1595)年から肝付家の居城となっていた給黎城の麓として、政治の中心的な役割を果たしていた地域です。承応2(1653)年に4代領主兼屋のとき、現在の麓に居館は移されましたが、今日湧水を利用した水路沿いに歴史的雰囲気を感じさせる石堀や武家門などが連なり、往時を偲ぶことができます。令和元年5月に日本遺産に認定された「薩摩の武士が生きた町」の主な麓の一つです。

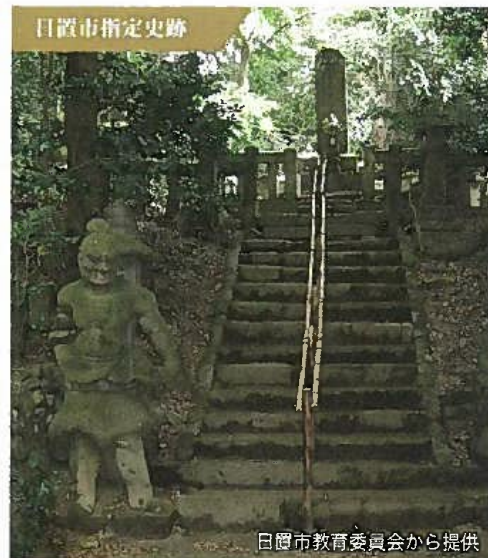
■お問合せ先
鹿児島市教育委員会 文化財課
☎099-227-1962

■所在地
鹿児島市喜入町麓地区



大乘寺跡・光禅寺跡 日置島津家ゆかりの地。

だいじょうじあと・こうぜんじあと



大乘寺は、島津家第15代当主貴久の夫人雪窓院の建立によるものです。文禄4(1595)年に、日置島津家3代常久は、初代歳久の冥福のためここを日置島津家の菩提寺にしたと言われています。明治2(1869)年の廃仏毀釈により廃寺となりました。光禅寺は、日置島津家初代島津歳久の夫人悦窓院が、慶長7(1602)年に瑞岳和尚を招いて寺院を建立しました。これが瑞喜山光禅寺となりました。

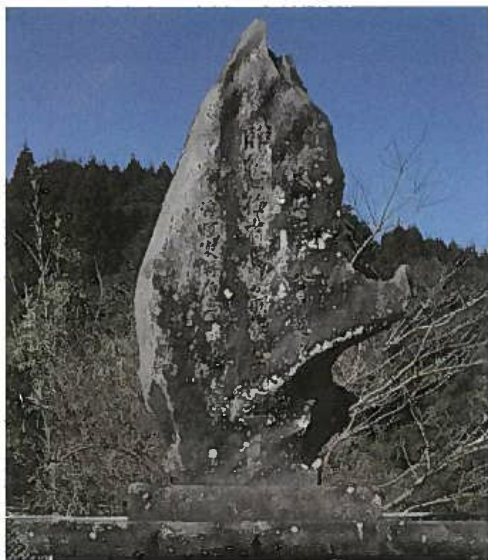
■お問合せ先
日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

■所在地
日置市日吉町
5681 (大乘寺跡)
352 (光禅寺跡)



有馬新七誕生地之碑

ありましんしちたんじょうちのひ



伊集院郷士のもとに生まれた生家。

有馬新七は、伊集院町小城集落の坂本貞常の三男として文政8（1825）年に生まれました。文政10（1827）年に、鹿児島城下の御小姓組有馬家を相続することになり、鹿児島に移住しました。この石碑は、大正7（1918）年に、伊集院町小城に建てられましたが、河川改修によりこの地に移されました。

■お問合せ先
日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

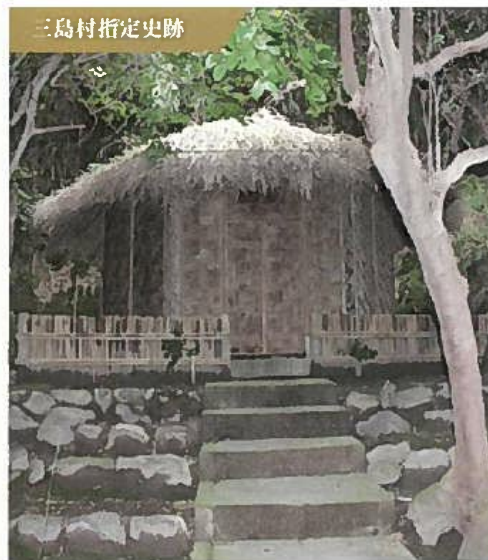
■所在地
日置市伊集院町徳重535-9



俊寛堂

俊寛を祀った墓。

しゅんかんどう



三島村指定史跡

治承元（1177）年、平家討伐の陰謀が漏れ、俊寛らが流されてきたのが鬼界ヶ島と呼ばれた硫黄島です。俊寛は、平清盛の怒りが解けず一人取り残され、2年後に亡くなりました。島の人たちはその生涯を哀れみ、俊寛が行き来した川原に墓を建てました。後に彼の住まいの跡に墓を移転し、祀ってきました。

■お問合せ先
三島村役場（教育委員会）
☎099-222-3141

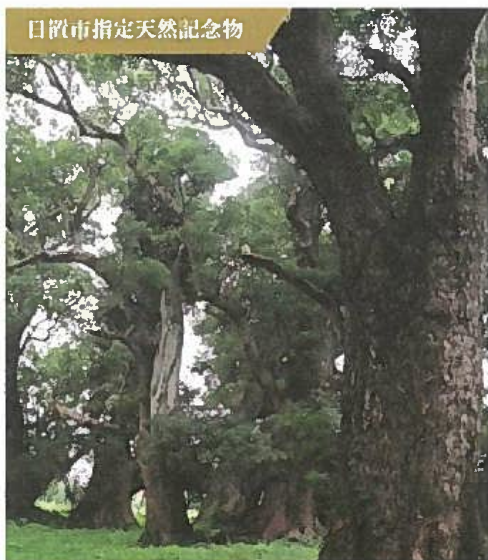
■所在地
鹿児島郡三島村大字硫黄島203



千本楠

大汝牟遅神社の御神木。

せんぼんぐす



日置市指定天然記念物

千本楠は、樹齢800年以上の大クスがあたかも寝ているように連なって、天空に伸びあがるように梢を伸ばしています。その姿は臥龍を思わせ、20数本しかない楠が1000本あるように見えます。倒れて朽ちた根回り18mの楠が親木とされ、神話によると、大汝牟遅（おおなむち）命が、楠の杖を地に差し、それが根付いて親木になったとされています。

■お問合せ先
日置市教育委員会社会教育課
☎099-248-9432

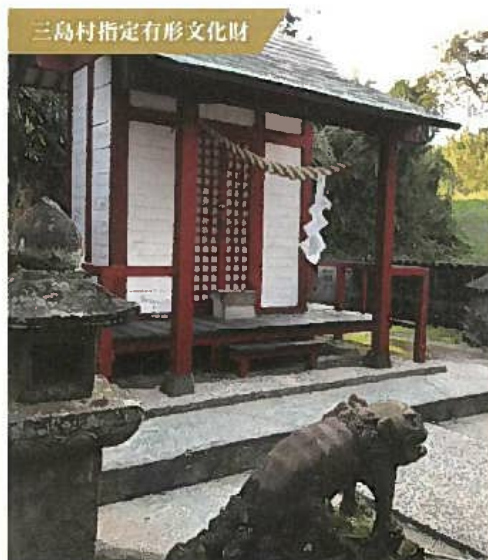
■所在地
日置市吹上町中原2303-1



聖大明神社

狛犬ではなく、狛「猫」に守られている。

ひじりだいみょうじんじや



三島村指定有形文化財

聖大明神社は、狛犬ではなく狛「猫」に守られています。いつ建てられたかは定かではありませんが、大昔、大浦と言うところ（今の東泊辺）に溜池があり、その周りが落ち込み、竜神が現れ、化して石になったといわれています。そのとき、神のお告げがあり、この神社を建立したとされています。

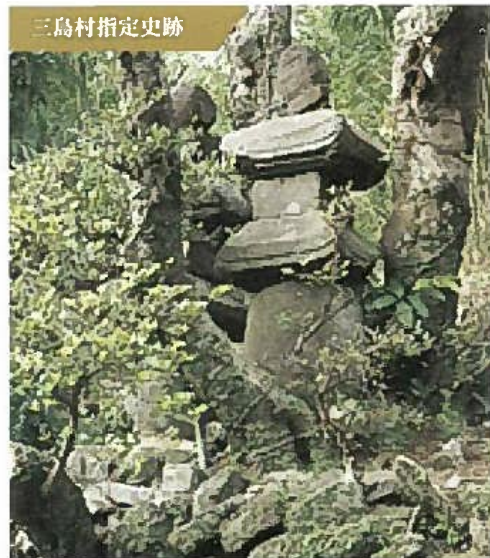
■お問合せ先
三島村役場（教育委員会）
☎099-222-3141

■所在地
鹿児島郡三島村大字竹島



イバドンの墓 訛りから生まれた墓跡。

いばどんのはか



イバドンの墓は、「大庭どん」が訛ってイバドンの墓と呼ばれるようになったものです。平家落人狩りに黒島へやってきた源氏の勇士宇都家政、別名大庭三郎家政は平家の娘と恋仲になり、死ぬまでこの島で暮らしました。

■お問合せ先
三島村役場（教育委員会）
☎099-222-3141

■所在地
三島村大字黒島片泊



イギリス坂 薩摩がイギリスに挑戦した場所。

いざりすざか



イギリス坂は、文政7（1824）年、宝島にイギリス船が来島し、牛の略奪をめぐるイギリス人が銃を乱発したため、役人が応戦し、イギリス人1名を射殺する事件（宝島事件）が起こった現場一帯です。文久2（1862）年の生麦事件で薩摩とイギリスは再び出会い、そのもつれから文久3（1863）年薩英戦争が起こりました。

■お問合せ先
十島村役場（教育委員会）
☎099-227-9771

■所在地
鹿児島郡十島村宝島



薩摩硫黄島のメンドン 世界が認めた謎多き「来訪神」。

さつまいおうじまのめんどん



メendonは、鹿児島郡硫黄島の熊野神社に奉納される「硫黄島八朔太鼓踊り」に登場する天下御免の仮面神です。その様子は南方系の特徴を残しており、手に持っている神木の枝で観客を叩きます。叩かれると魔が祓われると言われていています。平成30（2018）年11月に、「来訪神：仮面・仮装の神々」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。

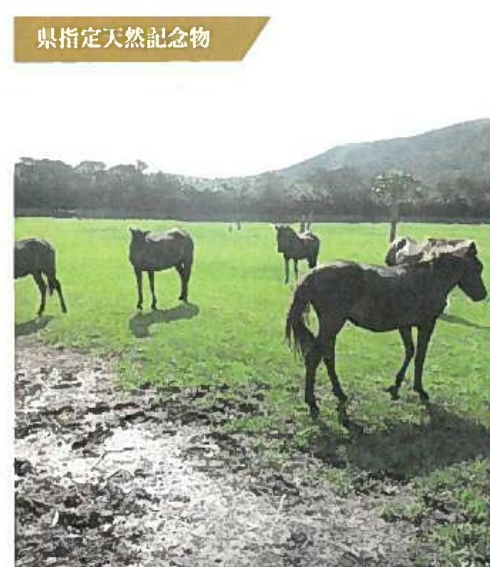
■お問合せ先
三島村役場（教育委員会）
☎099-222-3141

■所在地
三島村硫黄島



トカラウマ 孤高の黒馬。

とからうま



トカラウマは、体高110～120cmの栗色をした小さな馬で、たてがみ、尾などの毛が長く、密生しています。西洋種の影響を受けていない小型の在来種です。明治30（1897）年頃喜界島から宝島に移入され、戦後になりトカラウマと呼ばれるようになりました。現在、トカラ列島では、中之島と宝島で飼育されています。

■お問合せ先
十島村役場（教育委員会）
☎099-227-9771

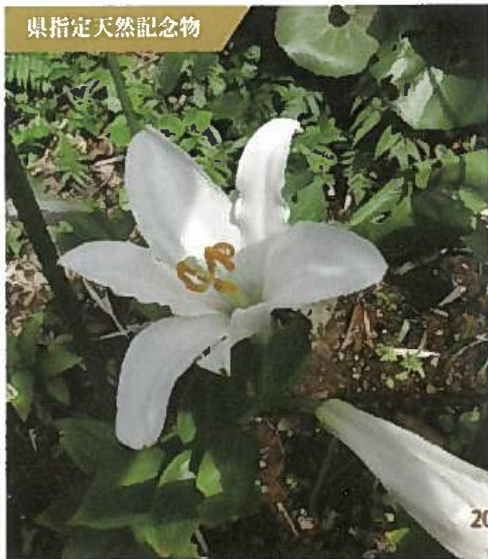
■所在地
十島村中之島、宝島



タモトユリ 純白で香りの高い、口之島固有のユリ。

たもとゆり

県指定天然記念物



タモトユリは、ユリ科の多年草で、十島村口之島の西南海岸の断崖絶壁に希に自生する固有種です。タモトユリの名は、自生地が断崖絶壁で、たとえ手に入れても袂(たもと)に入れないと持ち帰れないから名付けられたという説と、自生地が「袂ヶ浦」に近いので名付けられたという説があります。乱獲により絶滅が危惧されましたが、地元の方々の手で保護増殖活動が行われています。

■お問合せ先
十島村役場(教育委員会)
☎099-227-9771

■所在地
鹿児島郡十島村口之島



悪石島のボゼ 世界が認めた謎多き「来訪神」。

あくせきじまのぼぜ

国指定重要無形民俗文化財



悪石島のボゼは、旧暦7月16日の夕刻、盆踊りの最中に突然現れ、人びとの邪気を追い祓います。頭には大きな耳のようなものがあり、その根元にお椀のような目と大きく開いた口、色は赤土と墨を縦縞模様塗りに塗りつけられた異様な仮面を被ります。平成30(2018)年11月に、「来訪神：仮面・仮装の神々」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。

■お問合せ先
十島村役場(教育委員会)
☎099-227-9771

■所在地
鹿児島郡十島村悪石島



まとめ知識

古いお墓で見かける！
お墓の形！

お墓は、歴史上の人物と相対することができる唯一の場所です。古いお寺跡などでよく見かける形のお墓を覚えておくと、先人たちのルーツをより深く知ることができます！

五輪塔 こりんとう



密教において考え出された形で、下から地・水・火・風・空の「五大」=宇宙を表しています。また、その他にも五体満足という言葉があるように、5つの石が人間の体を構成しているともされています。

宝篋印塔 ほうきょういんとう



元々は塔婆(仏舎利=仏様のお骨)の一形式です。墓塔や供養塔として造られるようになりました。島津家の代々の当主の墓はこの形式で造られており、伝統的なお墓の形といえます。

無縫塔 ひほうとう



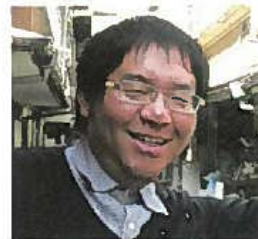
主に禅宗のお坊さんのお墓で見られる形です。その塔身に縫い目や継ぎ目がないことから、無縫塔と呼ばれるようになりました。塔身が卵形という特徴があり、別名「卵塔」とも呼ばれています。

※お墓は禁じられた場所へは踏み入らず、みだりに騒がず、静粛を保持してお参りしましょう。

コラム

薩摩藩の大動脈、薩摩街道。

参 勤交代の際にも利用され、鹿児島城下から隣接する熊本藩などに通じる交通路が、出水筋こと薩摩街道でした。当時の道筋は、現在の国道3号になぞられる箇所もありますが、様々な文化財を辿りながら楽しむことができる旧街道も地域には残っています。日本遺産に認定された串木野麓や出水麓近くにも薩摩街道は位置付けられています。また、街道だけに通行した記録のある著名人は数多く、島津斉彬や西郷隆盛、大久保利通はもちろん、坂本龍馬も薩摩街道を利用していました。旧街道を辿りながら沿線の文化財に触れることは、意外な歴史物語との出会いにつながるかもしれません。



特定非営利活動法人
まちづくり地域フォーラム・
かこしま探検の会

代表理事 東川 隆太郎

出典一覧

- 鹿児島県ホームページ
- 鹿児島県教育委員会ホームページ
- 鹿児島県観光連盟ウェブサイト
- 鹿児島市ホームページ
- 鹿児島市史跡めぐりガイドブックホームページ
- 鹿児島市観光ナビホームページ
- 鹿児島観光コンベンション協会ホームページ
- 日置市ホームページ
- 日置市観光協会ウェブサイト
- いちき串木野市ホームページ
- いちき串木野総合観光ガイドホームページ
- 三島村ホームページ
- 十島村ホームページ
- 鹿児島日本遺産ホームページ
- かごしまデジタルミュージアムホームページ
- 南洲神社ホームページ
- 妙園寺ホームページ
- 現地説明板

かごしま文化財探訪 鹿児島地区

発行日 令和2年3月

発行者 鹿児島県教育委員会

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

電話 099-286-5355(文化財課)
